

アクリル系軟質リライニング材 スーパーソフトシリーズ

Functional Denture Soft
fd soft

Comfortner
Light Cured Denture Soft Relining Material

Q&A

●アクリル系の軟質リライニング材とは

Q1 : アクリル系の特長は(シリコーン系と比較して)

A : 義歯床のリライニング材には硬質と軟質のリライニング材(裏装材・リベース材)があります。
さらに軟質にはアクリル系とシリコーン系の2種類があり、それぞれの長所・短所を以下に列記します。

	アクリル系	シリコーン系
長所	<ol style="list-style-type: none">1. 口腔内で追加修正ができる。2. 床からの剥離が少ない。3. 粘膜適合試験材が使用できる。4. 粘弾性で粘膜の性状に近く、咀嚼効率が低い。5. 親水性でなじみやすい。	<ol style="list-style-type: none">1. ゴム弾性で弾性が強く、極度のアンダーカットに向いている。2. 吸水性が小さいため着色しにくい。3. 操作性が良い。(自動練和が可能)
短所	<ol style="list-style-type: none">1. 親水性で面荒れを起こしやすい。2. 吸水性が大きく脱色しやすい。	<ol style="list-style-type: none">1. 口腔内で追加修理ができない。2. 床から剥離しやすい。

Q2 : 粘膜の粘弾性とは

A : シリコーン系の弾性はゴムまりのように、瞬間的に移動して沈下するゴム弾性です。
他方、粘膜の場合は、血管やリンパ管、神経、結合組織、白血球、リンパ球などの成分が組織中に充満しているため、粘膜に外圧が加わると、時間の経過とともに周囲に組織内容物が移動して、じっくりと沈下する特性があります。これを粘弾性といいます。
アクリル系にはこの粘弾性がありますので、粘膜の代用品といえます。そのため、シリコーン系よりもアクリル系のほうが咀嚼効率が上がるという研究発表もあります。
(広島大学補綴第二講座 浜田教室)

●アクリル系の耐久性は

Q3 : 耐久性は?

A : アクリル系は親水性のため、軟らかければ軟らかいほど汚れやすく、経時的に硬化も徐々に進みます。
特に、耐久性は日々の義歯の洗浄の有無に大きく左右されますが、通常、半年から1年程度で軟質リライニング材を交換するようにしてください。
なお、高度のドライマウス患者の場合は、適正な義歯洗浄剤で洗浄していても、短時間で激しい面荒れを起こすことがあります(Q4の1.参照)、この場合は本材の適用外となります。

Q4：面荒れの原因は

A：【原因】

1. デンチャープラークの石灰化（特にドライマウス患者では顕著）

単なる義歯の水洗いだけでは内外のデンチャープラークは除去できず、歯石同様、石灰化がはじまって軟質レジンが硬化し、徐々にその範囲が床ライニング面全体に広がります。

特にドライマウス患者の一部では、自浄作用の低下から口腔内常在菌が非常に繁殖しやすく、適正に洗浄していてもライニング面が短期間で激しく劣化することがあります。この場合は本材の適用外となります。

2. 一般市販の義歯洗浄剤による劣化

市販の義歯洗浄剤には漂白剤や発泡剤が含まれていて、軟質ライニング材内部から気泡を発生させます。そして、材質が軟らかいため気泡が移動しやすく、凝集して表面に浮き上がり面荒れにつながります。従って、アクリル系の軟質ライニング材“FDソフト”は、必ず軟質レジン専用の義歯洗浄剤“クリーンソフト”（亀水化学）で毎日洗浄するようにしてください。

3. 煮沸による劣化

煮沸すると内部の気泡が凝集して表面に浮き上がり、面を劣化させますので煮沸はしないでください。

Q5：面荒れ予防対策は

A：【対策】

1. 表面滑沢材の塗布

ライニング面には各付属の表面滑沢材を必ず塗布してください。劣化が抑えられます。

2. 義歯の洗浄（化学的洗浄）

面荒れ予防で最も大切なことは義歯を毎日洗浄、手入れすることです。

この時に注意することは、市販の義歯洗浄剤ではかえって劣化しますので“FDソフト”には必ず軟質レジン専用の義歯洗浄剤“クリーンソフト”（亀水化学）を、“コンフォートナー”には“酵素入りポリデント”（アース製薬）を使用するようにしてください。

3. 機械的清掃の併用

2. の化学的洗浄と合わせて、洗浄の前後には極細の超軟毛歯ブラシで水洗いするなど、機械的な清掃も併用してください。但し、キズつきますので、硬い歯ブラシで表面をこすらないようにしてください。

Q6：専用の義歯洗浄剤とは？

A：“FDソフト”の場合は、軟質レジン専用の義歯洗浄剤“クリーンソフト”（亀水化学）をお使いください。

“コンフォートナー”の場合は“酵素入りポリデント”（アース製薬）のほかに“クリーンソフト”も使用可能ですが、その他のポリデントや他社の義歯洗浄剤は材質を劣化させ、面荒れにつながりやすく使用不可です。

●着色の問題について

Q7：ライニング義歯を専用の義歯洗浄剤“クリーンソフト”で洗浄すると着色してきた。

A：“クリーンソフト”はデンチャープラークを洗浄する効果は大ですが、面荒れを誘発する漂白剤は一切入っておりません。他方、硬質レジン歯や義歯床が食生活や嗜好品、服用薬によって着色することがあります。

【対策】1. 医院専用の義歯洗浄剤“デントクリーン”（亀水化学）で5分～10分間超音波洗浄することにより、軟質レジンでも綺麗になります。

2. その都度、“酵素入りポリデント”などの市販の義歯洗浄剤で、短時間に限定して洗浄することによって着色を漂白除去することができます。但し、長時間の漂白や、繰り返しの漂白は面荒れすることがありますので避けてください。

●臭い、味の問題について

Q8：リライニング材のいやな臭いや味がいつまでもとれず、困っています。

A：臭いや味の根本的な改良を行うには、新規成分を使用する必要がありますが、安全性が確認できているなど、薬事法で使用できる成分に限りがあり、どうしても使える成分が制約されます。従いまして、現時点では対症療法的に対策を考えざるをえません。一般的に臭いや味は時間の経過とともに軽減してきますが、その原因としては次の2種類があげられます。

1. 表面滑沢材“ニュートップコート”によるもの

対策としては、リライニング義歯の装着前に“ニュートップコート”塗布面を十分に水洗します。

2. リライニング材自体によるもの

1週間以上経過しても味や臭いが気になる場合の対策としては、“酵素入りポリデント”など、市販の義歯洗浄剤に約15分間程漬けて時々洗浄するとマスキング効果で軽減できます。但し、装着初期の軟らかい義歯の場合、リライニング面が荒れますので、市販の義歯洗浄剤に一晩中漬けたり、毎日繰り返したりしないでください。

※これらの対策を施しても、装着後にいつまでも臭いや味が気になるようでしたら、体質的に本材の適用外となります。その場合は、シリコン系など他の材質の弾性リライニング材をご使用ください。

●“FDソフト”と“コンフォートナー”の違い

Q9：両者の違いは？

A：1. 重合方法の差(直接法の場合)

- “FDソフト”は約60℃の温水中に10分間の浸漬加温が必要です。
- “コンフォートナー”は光重合型のため、ラボ用の光重合器が必要です。
なお、ガンタイプのコンポジット用光重合器は使用不可です。

2. 使用可能な義歯洗浄剤の差

- “FDソフト”の義歯洗浄には、専用の義歯洗浄剤“クリーンソフト”(亀水化学)が必須です。
- “コンフォートナー”は光重合型レジンで、本体同様、表面滑沢材自体も光重合して強固な滑沢面を形成します。その結果、義歯洗浄剤に市販の“酵素入りポリデント”(アース製薬)が使用できるようになり、使用することによって耐久性と利便性が大幅に向上いたします。

●操作方法は

Q10：直接法の場合は

A：1. 床粘膜面を一層削除して、新生面を出します。
2. 付属の接着剤を塗布します。(接着剤と表面滑沢材は兼用となっております)
3. 粉液を計量・混和し、床へ盛り上げます。
4. 口腔内でゲル化を待ち、取り出して形態修正をします。

次に、

- “FDソフト”の場合は、約60℃のお湯に約10分間浸漬加温します。
その後、付属の表面滑沢材を表面に塗布し、乾燥したあと水洗して完成です。
- “コンフォートナー”の場合は、付属の表面滑沢材を塗布後、“オキシバリアー”を塗って光照射し、光重合後、水洗して完成です。

Q11：床への接着は？

A：共に接着材の塗布が必要です。

- “FDソフト”の場合は、揮発乾燥型の“ニュートップコート”です。
- “コンフォートナー”の場合は、光重合型の“コートライナー”です。

注)両方とも練和物の床への盛り上げのタイミングは、接着材の表面がぬれている状態でも、乾いている状態でもかまいません。

Q 12：金属床に使えますか？

A：本材は直接金属には接着いたしません。
対策としては金属接着性レジン塗布し、その上に即時重合レジンで金属部分を一層被覆後、付属の接着材を塗布して、本材を盛り上げてください。

Q 13：研磨は？

A：軟質のため研磨はできませんが、ハサミやデザインナイフでの概形成のあと、付属の表面滑沢材を単回使用の筆で塗布することによって、滑沢な面が得られます。

Q 14：光重合型“コートライナー”に必要な光重合器とは？

A：一般市販のラボ用光重合器をご使用ください。
なお、コンポジット用のガンタイプの光重合器は使用不可です。

【照射時間の目安】

約 15分・・・リベスライトⅡ(亀水)、トレイラックス(ヨシダ)、プチライト(GC)

約 10分・・・ラボ光(ヨシダ)、αライト(モリタ)、ラボライトLV(GC)、ソルディライト(松風)

約 3分・・・ブルーサンダー(ヨシダ)、デンタカラー(パナヘラウス)、ウオーターライト(モルテノ)

Q 15：保管方法は？

A：冷暗所に保管してください。
特に“コンフォートナー”は光重合タイプですので、光が遮断された場所に保管してください。

●間接法による気泡発生の原因は

Q 16：新義歯との同時成形で、気泡が発生する原因は？

A：“FDソフト”の流動性が高いため、フラスコ試圧時の圧不足が原因となって、重合後、“FDソフト”の表面に多量の気泡が発生することがあります。これを避けるため、第一回目の試圧プレス時から、バリ取りはフラスコ間に十分間隔を開けたまま行い、最後の試圧プレスで圧が十分かかるようにします。
多量の気泡発生の主原因は、この試圧プレス時の圧不足によります。

●その他

Q 17：保険請求は？

A：共に義歯床の裏装です。

Q 18：何床分/セットありますか？

A：●セット内容は粉 110g、液 100mL、表面滑沢材 30mL で、上下顎総義歯でおよそ 10 組、合計 20 床分に相当します。

●セット内容は粉 60g、液 50mL、表面滑沢材 20mL で、上下顎総義歯でおよそ 5 組、合計 10 床分に相当します。

Q 19：色調は？

A：共にピンクの 1 色のみです。